

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	無期限（2010年2月18日設定）	
運用方針	主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界主要国の債券に投資し、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、世界主要国の債券に直接投資することがあります。
	マザーファンド	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	毎月20日に決算（ただし、20日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。なお、第1期および第2期の決算時には収益の分配は行いません。また、基準価額水準によっては、一時的に分配金を増やすことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド （毎月決算型）

愛称：グローバル・トップ



第129期（決算日：2020年11月20日）
 第130期（決算日：2020年12月21日）
 第131期（決算日：2021年1月20日）
 第132期（決算日：2021年2月22日）
 第133期（決算日：2021年3月22日）
 第134期（決算日：2021年4月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（毎月決算型）」は、去る4月20日に第134期の決算を行いましたので、法令に基づいて第129期～第134期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			（ 参 考 指 数 ）		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	期 騰 落 中 率			
105期(2018年11月20日)	円 7,349	円 35	% 1.7	447.61	% 0.4	% 97.3	% —	百 万 円 70,238
106期(2018年12月20日)	7,380	35	0.9	453.38	1.3	96.4	—	68,968
107期(2019年1月21日)	7,179	35	△2.2	443.63	△2.2	97.3	—	66,701
108期(2019年2月20日)	7,285	35	2.0	450.98	1.7	97.1	—	66,888
109期(2019年3月20日)	7,305	35	0.8	457.32	1.4	98.4	—	66,038
110期(2019年4月22日)	7,320	35	0.7	459.63	0.5	98.2	—	64,714
111期(2019年5月20日)	7,183	35	△1.4	453.53	△1.3	97.9	—	62,966
112期(2019年6月20日)	7,153	35	0.1	458.37	1.1	98.1	—	62,069
113期(2019年7月22日)	7,135	35	0.2	458.66	0.1	97.9	—	61,164
114期(2019年8月20日)	7,142	35	0.6	461.31	0.6	98.0	—	60,619
115期(2019年9月20日)	7,166	35	0.8	466.14	1.0	98.4	—	59,989
116期(2019年10月21日)	7,202	35	1.0	469.98	0.8	98.0	—	59,329
117期(2019年11月20日)	7,165	35	△0.0	466.88	△0.7	97.6	—	57,782
118期(2019年12月20日)	7,184	20	0.5	469.41	0.5	96.9	—	56,694
119期(2020年1月20日)	7,252	20	1.2	474.85	1.2	97.9	—	55,762
120期(2020年2月20日)	7,327	20	1.3	481.10	1.3	97.5	—	55,145
121期(2020年3月23日)	7,393	20	1.2	478.68	△0.5	97.9	—	54,161
122期(2020年4月20日)	7,418	20	0.6	475.93	△0.6	97.6	—	53,298
123期(2020年5月20日)	7,469	20	1.0	479.03	0.7	97.5	—	53,410
124期(2020年6月22日)	7,616	20	2.2	482.44	0.7	98.3	—	53,822
125期(2020年7月20日)	7,794	20	2.6	491.49	1.9	98.1	—	54,525
126期(2020年8月20日)	7,861	20	1.1	496.46	1.0	97.9	—	54,430
127期(2020年9月23日)	7,756	20	△1.1	490.25	△1.3	98.0	—	53,254
128期(2020年10月20日)	7,759	20	0.3	495.52	1.1	97.6	—	52,903
129期(2020年11月20日)	7,745	20	0.1	489.38	△1.2	98.1	—	52,365
130期(2020年12月21日)	7,914	20	2.4	495.48	1.2	96.9	—	53,065
131期(2021年1月20日)	7,986	20	1.2	494.30	△0.2	97.4	—	53,184
132期(2021年2月22日)	8,069	20	1.3	494.17	△0.0	98.0	—	53,116
133期(2021年3月22日)	8,977	20	△0.9	498.38	0.9	97.5	—	52,050
134期(2021年4月20日)	7,028	20	0.9	498.62	0.0	97.7	—	51,951

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数)		債券組入比率	債券先物比率
		円	騰落率	FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)	騰落率		
第129期	(期首) 2020年10月20日	7,759	—	495.52	—	97.6	—
	10月末	7,643	△1.5	488.04	△1.5	97.7	—
	(期末) 2020年11月20日	7,765	0.1	489.38	△1.2	98.1	—
第130期	(期首) 2020年11月20日	7,745	—	489.38	—	98.1	—
	11月末	7,853	1.4	493.20	0.8	98.2	—
	(期末) 2020年12月21日	7,934	2.4	495.48	1.2	96.9	—
第131期	(期首) 2020年12月21日	7,914	—	495.48	—	96.9	—
	12月末	7,960	0.6	497.33	0.4	96.9	—
	(期末) 2021年1月20日	8,006	1.2	494.30	△0.2	97.4	—
第132期	(期首) 2021年1月20日	7,986	—	494.30	—	97.4	—
	1月末	7,987	0.0	496.21	0.4	97.6	—
	(期末) 2021年2月22日	8,089	1.3	494.17	△0.0	98.0	—
第133期	(期首) 2021年2月22日	8,069	—	494.17	—	98.0	—
	2月末	7,963	△1.3	494.15	△0.0	97.9	—
	(期末) 2021年3月22日	7,997	△0.9	498.38	0.9	97.5	—
第134期	(期首) 2021年3月22日	7,977	—	498.38	—	97.5	—
	3月末	7,996	0.2	501.12	0.5	97.4	—
	(期末) 2021年4月20日	8,048	0.9	498.62	0.0	97.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第129期～第134期：2020年10月21日～2021年4月20日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第129期首	7,759円
第134期末	8,028円
既払分配金	120円
騰落率	5.0%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

豪ドルやシンガポールドルが対円で上昇したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

オーストラリアやシンガポールの長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第129期～第134期：2020年10月21日～2021年4月20日

▶ 投資環境について

▶ 債券市況

オーストラリア、シンガポール、ニュージーランドの長期金利は上昇しました。

米国大統領選においてバイデン候補が勝利したことに加え、連邦議会上院の決選投票で民主党の上下両院での優勢が確定したことで追加経済対策への期待が高まったことや、新型コロナウイルスワクチンの接種進展、商品価格上昇などを受けて、緩和的な金融政策の早期縮小を織り込む動きが強まったことなどから、オーストラリア、シンガポール、ニュージーランドの長期金利は上昇しました。

▶ 為替市況

豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。

世界的に株式市場が堅調に推移したことや、米国の追加経済対策による景気回復期待から投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（毎月決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高いと判断した国の債券を高位に組み入れた運用を行いました。

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

投資国

2021年2月まではオーストラリア、シンガポールの2カ国で運用しました。3月にシンガポールをニュージーランドに入れ替え、その後はオーストラリアとニュージーランドの2カ国で運用しました。

通貨

相対的に利回りが高いと判断した投資対象国の中から、オーストラリアへ重点配分しました。

金利

残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

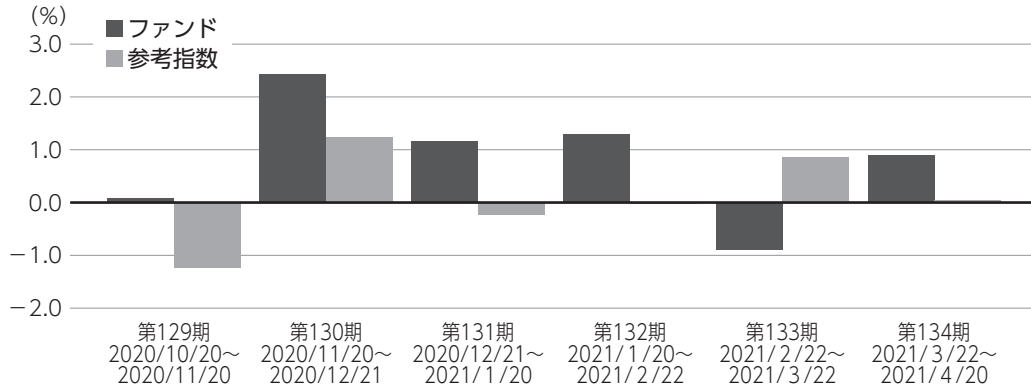
組入比率

作成期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

第129期～第134期：2020/10/21～2021/4/20

当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第129期 2020年10月21日~ 2020年11月20日	第130期 2020年11月21日~ 2020年12月21日	第131期 2020年12月22日~ 2021年1月20日	第132期 2021年1月21日~ 2021年2月22日	第133期 2021年2月23日~ 2021年3月22日	第134期 2021年3月23日~ 2021年4月20日
当期分配金 （対基準価額比率）	20 (0.258%)	20 (0.252%)	20 (0.250%)	20 (0.247%)	20 (0.250%)	20 (0.249%)
当期の収益	8	16	15	19	8	15
当期の収益以外	11	4	4	0	11	5
翌期繰越分配対象額	368	364	360	370	358	353

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（毎月決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド 投資国

世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投

資する方針です。

通貨

相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

金利

ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

2020年10月21日～2021年4月20日

1万口当たりの費用明細

項目	第129期～第134期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	48	0.603	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(23)	(0.290)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(23)	(0.286)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.019	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.017)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	50	0.622	

作成期中の平均基準価額は、7,933円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

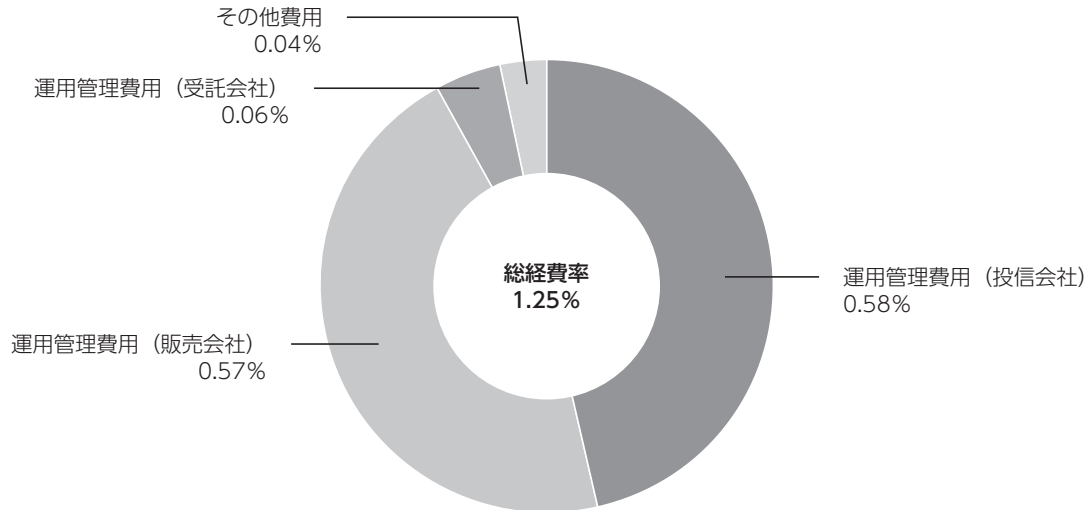
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.25%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年10月21日～2021年4月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第129期～第134期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 24,985	千円 69,210	千口 1,408,439	千円 3,931,256

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月21日～2021年4月20日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

区 分	第129期～第134期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 54,168	百万円 30,456	% 56.2	百万円 63,341	百万円 36,464	% 57.6

平均保有割合 28.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年4月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第128期末	第134期末	
	口 数	口 数	評 価 額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 19,544,760	千口 18,161,306	千円 51,828,736

○投資信託財産の構成

(2021年4月20日現在)

項 目	第134期末	
	評 価 額	比 率
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千円 51,828,736	% 99.3
コール・ローン等、その他	342,908	0.7
投資信託財産総額	52,171,644	100.0

(注) 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（182,929,157千円）の投資信託財産総額（183,622,951千円）に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=84.04円	1 ニュージーランドドル=77.81円	
--------------------	---------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第129期末	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末
	2020年11月20日現在	2020年12月21日現在	2021年1月20日現在	2021年2月22日現在	2021年3月22日現在	2021年4月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	52,592,810,163	53,325,427,472	53,416,261,216	53,371,311,626	52,307,502,356	52,171,644,318
コール・ローン等	194,139,195	181,043,253	183,763,713	187,130,599	170,685,240	169,530,218
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド(買戻)	52,238,331,972	52,940,077,138	53,054,880,311	52,991,710,710	51,924,230,280	51,828,736,429
未収入金	160,338,996	204,307,081	177,617,192	192,470,317	212,586,836	173,377,671
(B) 負債	226,929,056	259,649,030	232,156,808	255,018,514	257,047,426	220,018,183
未払収益分配金	135,230,549	134,114,249	133,199,301	131,652,833	130,504,706	129,428,814
未払解約金	37,342,843	70,859,619	45,658,804	65,216,126	77,594,660	40,519,830
未払信託報酬	54,148,810	54,467,107	53,095,922	57,928,341	48,761,858	49,879,081
未払利息	115	99	60	45	30	23
その他未払費用	206,739	207,956	202,721	221,169	186,172	190,435
(C) 純資産総額(A-B)	52,365,881,107	53,065,778,442	53,184,104,408	53,116,293,112	52,050,454,930	51,951,626,135
元本	67,615,274,582	67,057,124,678	66,599,650,960	65,826,416,841	65,252,353,434	64,714,407,091
次期繰越損益金	△15,249,393,475	△13,991,346,236	△13,415,546,552	△12,710,123,729	△13,201,898,504	△12,762,780,956
(D) 受益権総口数	67,615,274,582口	67,057,124,678口	66,599,650,960口	65,826,416,841口	65,252,353,434口	64,714,407,091口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,745円	7,914円	7,986円	8,069円	7,977円	8,028円

○損益の状況

項 目	第129期	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期
	2020年10月21日～ 2020年11月20日	2020年11月21日～ 2020年12月21日	2020年12月22日～ 2021年1月20日	2021年1月21日～ 2021年2月22日	2021年2月23日～ 2021年3月22日	2021年3月23日～ 2021年4月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 3,095	△ 2,997	△ 1,786	△ 1,116	△ 1,045	△ 663
受取利息	—	55	60	25	—	—
支払利息	△ 3,095	△ 3,052	△ 1,846	△ 1,141	△ 1,045	△ 663
(B) 有価証券売買損益	89,429,643	1,320,494,597	666,305,123	739,468,828	△ 422,876,861	509,815,714
売買益	95,763,189	1,328,945,962	672,517,954	742,119,937	6,889,717	511,644,783
売買損	△ 6,333,546	△ 8,451,365	△ 6,212,831	△ 2,651,109	△ 429,766,578	△ 1,829,069
(C) 信託報酬等	△ 54,355,549	△ 54,675,063	△ 53,298,643	△ 58,149,510	△ 48,948,030	△ 50,069,516
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	35,070,999	1,265,816,537	613,004,694	681,318,202	△ 471,825,936	459,745,535
(E) 前期繰越損益金	△ 2,159,576,195	△ 2,164,634,172	△ 997,295,048	△ 484,411,180	64,606,742	△ 519,600,486
(F) 追加信託差損益金	△12,989,657,730	△12,958,414,352	△12,898,056,897	△12,775,377,918	△12,664,174,604	△12,573,497,191
(配当等相当額)	(2,563,476,095)	(2,468,644,096)	(2,425,230,217)	(2,370,845,875)	(2,350,317,649)	(2,318,055,875)
(売買損益相当額)	(△15,553,133,825)	(△15,427,058,448)	(△15,323,287,114)	(△15,146,223,793)	(△15,014,492,253)	(△14,891,553,066)
(G) 計(D+E+F)	△15,114,162,926	△13,857,231,987	△13,282,347,251	△12,578,470,896	△13,071,393,798	△12,633,352,142
(H) 収益分配金	△ 135,230,549	△ 134,114,249	△ 133,199,301	△ 131,652,833	△ 130,504,706	△ 129,428,814
次期繰越損益金(G+H)	△15,249,393,475	△13,991,346,236	△13,415,546,552	△12,710,123,729	△13,201,898,504	△12,762,780,956
追加信託差損益金	△13,064,034,532	△12,985,237,202	△12,924,696,757	△12,775,377,918	△12,677,225,074	△12,605,854,395
(配当等相当額)	(2,489,190,509)	(2,441,880,362)	(2,398,693,867)	(2,370,915,954)	(2,337,320,274)	(2,285,763,206)
(売買損益相当額)	(△15,553,225,041)	(△15,427,117,564)	(△15,323,390,624)	(△15,146,293,872)	(△15,014,545,348)	(△14,891,617,601)
分配準備積立金	1,099,263	4,366,119	965,053	65,254,189	3,625,740	4,040,923
繰越損益金	△ 2,186,458,206	△ 1,010,475,153	△ 491,814,848	—	△ 528,299,170	△ 160,967,484

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 68,179,590,638円
 作成期中追加設定元本額 609,713,057円
 作成期中一部解約元本額 4,074,896,604円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8028円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は12,762,780,956円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2020年10月21日～ 2020年11月20日	2020年11月21日～ 2020年12月21日	2020年12月22日～ 2021年1月20日	2021年1月21日～ 2021年2月22日	2021年2月23日～ 2021年3月22日	2021年3月23日～ 2021年4月20日
費用控除後の配当等収益額	58,630,693円	110,568,681円	103,196,623円	115,146,447円	56,473,234円	97,521,849円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	80,808,179円	—円	—円
収益調整金額	2,563,567,311円	2,468,703,212円	2,425,333,727円	2,370,915,954円	2,350,370,744円	2,318,120,410円
分配準備積立金額	3,322,317円	1,088,837円	4,327,871円	952,396円	64,606,742円	3,590,684円
当ファンドの分配対象収益額	2,625,520,321円	2,580,360,730円	2,532,858,221円	2,567,822,976円	2,471,450,720円	2,419,232,943円
1万口当たり収益分配対象額	388円	384円	380円	390円	378円	373円
1万口当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	20円	20円
収益分配金金額	135,230,549円	134,114,249円	133,199,301円	131,652,833円	130,504,706円	129,428,814円

○分配金のお知らせ

	第129期	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

《第18期》決算日2021年4月20日

[計算期間：2020年4月21日～2021年4月20日]

「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」は、4月20日に第18期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。 世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。投資対象候補国は、国債の信用力、債券市場や外国為替市場の規模等を勘案して委託会社が決定します。投資対象候補国の中から、相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、最も利回りが高いと判断される国に重点配分することを基本とします。判断の基準としては、FTSE世界国債インデックスにおける各国の最終利回りとし、ポートフォリオの構築は国別に行うこととし、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択します。投資対象とする債券の種類は、各国の国債、政府保証債のほか、オーストラリアの州政府債および各国通貨建ての国際機関債とします。組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
主要運用対象	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	期騰落	中率	FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)	期騰落			
14期(2017年4月20日)	円	%	422.92	△3.7	%	%	百万円 272,303
15期(2018年4月20日)	21,256	0.3	448.58	6.1	97.6	—	222,771
16期(2019年4月22日)	21,931	3.2	459.63	2.5	98.4	—	203,832
17期(2020年4月20日)	23,472	7.0	475.93	3.5	97.8	—	182,121
18期(2021年4月20日)	25,258	7.6	498.62	4.8	97.9	—	183,125

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率	FTSE 世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2020年4月20日	25,258	—	475.93	—	97.8	—
4月末	25,166	△ 0.4	472.88	△0.6	96.8	—
5月末	25,700	1.7	481.05	1.1	97.9	—
6月末	26,450	4.7	488.81	2.7	98.2	—
7月末	26,851	6.3	494.14	3.8	98.0	—
8月末	27,250	7.9	492.65	3.5	98.1	—
9月末	27,102	7.3	494.88	4.0	98.4	—
10月末	26,606	5.3	488.04	2.5	98.0	—
11月末	27,437	8.6	493.20	3.6	98.4	—
12月末	27,912	10.5	497.33	4.5	97.2	—
2021年1月末	28,107	11.3	496.21	4.3	97.8	—
2月末	28,116	11.3	494.15	3.8	98.1	—
3月末	28,334	12.2	501.12	5.3	97.7	—
(期 末) 2021年4月20日	28,538	13.0	498.62	4.8	97.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

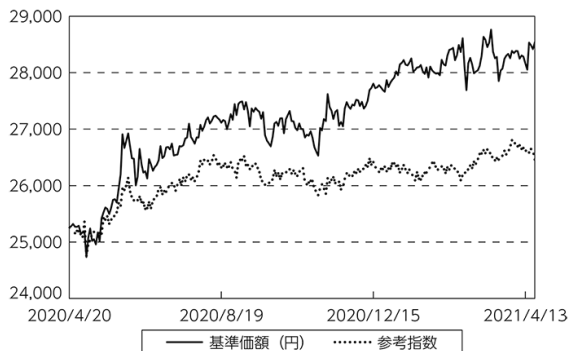
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ13.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

豪ドルやシンガポールドルが対円で上昇したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

オーストラリアやシンガポールの長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

・オーストラリア、米国、シンガポール、ニュージーランドの長期金利は上昇しました。

2020年10月にかけて、長期金利は米国、オーストラリア、シンガポールで概ね横ばいで推移した一方、ニュージーランドでは追加金融緩和観測などから低下しました。その後、米国で追加経済対策への期待が高まったことや、新型コロナ

ナウウイルスワクチンの接種進展、商品価格上昇などを受けて、緩和的な金融政策の早期縮小を織り込む動きが強まったことなどを背景に、4カ国の長期金利は上昇基調で推移しました。

◎為替市況

- ・豪ドル、米ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。

世界的に株高が進む中で投資家のリスクセンチメント改善などから、2020年12月にかけて米ドルは対円で下落した一方、豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは上昇基調で推移しました。その後は、米国の追加経済対策などを背景とした米国長期金利の上昇などから米ドルは対円で上昇に転じたことに加え、新型コロナウイルスワクチンの接種進展、商品価格上昇などから、豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは引き続き対円で上昇基調で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて (投資国)

- ・2020年4月までは、米国とシンガポールの2カ国で運用し、5月に米国をオーストラリアに入れ替えました。その後、2021年2月まではオーストラリアとシンガポールの2カ国で運用しましたが、3月にシンガポールをニュージーランドに入れ替えました。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断した投資対象国の中から、2020年4月は米国、5月以降はオーストラリアへ重点配分しました。

(金利)

- ・残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

(組入比率)

- ・期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

○今後の運用方針

(投資国)

- ・世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

(金利)

- ・ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年4月21日～2021年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	9	0.033	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(9)	(0.033)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、27,225円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年4月21日～2021年4月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル —	千アメリカドル 1,070,244
		特殊債券	—	89,781
			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
	オーストラリア	国債証券	1,796,300	358,953
		特殊債券	136,777	—
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 689,567	千ニュージーランドドル —
シンガポール		千シンガポールドル 131,951	千シンガポールドル 800,729	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2020年4月21日～2021年4月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	百万円 180,020	百万円 30,456	16.9	百万円 201,257	百万円 64,588	32.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年4月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,360,000	千オーストラリアドル 1,488,461	千円 125,090,330	% 68.3	% —	% 52.5	% 13.4	% 2.4
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 655,000	千ニュージーランドドル 697,096	54,241,058	29.6	—	18.5	6.9	4.2
合 計	—	—	179,331,388	97.9	—	71.0	20.3	6.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 額面金額	期 末 評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	国債証券					
	1.25 AUST GOVT 320521	1.25	80,000	75,914	6,379,885	2032/5/21
	1.5 AUST GOVT 310621	1.5	100,000	98,542	8,281,491	2031/6/21
	1.75 AUST GOVT 510621	1.75	30,000	24,473	2,056,725	2051/6/21
	2.25 AUST GOVT 221121	2.25	50,000	51,726	4,347,127	2022/11/21
	2.25 AUST GOVT 280521	2.25	60,000	64,469	5,418,021	2028/5/21
	2.5 AUST GOVT 300521	2.5	100,000	108,485	9,117,152	2030/5/21
	2.75 AUST GOVT 240421	2.75	85,000	91,741	7,709,971	2024/4/21
	2.75 AUST GOVT 271121	2.75	60,000	66,477	5,586,802	2027/11/21
	2.75 AUST GOVT 281121	2.75	80,000	88,723	7,456,345	2028/11/21
	2.75 AUST GOVT 291121	2.75	100,000	110,717	9,304,694	2029/11/21
	2.75 AUST GOVT 410521	2.75	30,000	31,559	2,652,231	2041/5/21
	3 AUST GOVT 470321	3.0	50,000	54,087	4,545,518	2047/3/21
	3.25 AUST GOVT 250421	3.25	50,000	55,590	4,671,821	2025/4/21
	3.25 AUST GOVT 290421	3.25	80,000	91,721	7,708,285	2029/4/21
	3.25 AUST GOVT 390621	3.25	45,000	51,290	4,310,473	2039/6/21
	4.25 AUST GOVT 260421	4.25	50,000	58,747	4,937,110	2026/4/21
	4.5 AUST GOVT 330421	4.5	60,000	77,602	6,521,673	2033/4/21
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	80,000	97,948	8,231,593	2027/4/21
	5.5 AUST GOVT 230421	5.5	50,000	55,422	4,657,669	2023/4/21
	特殊債券					
	2.75 QUEENSLAND 270820	2.75	40,000	43,927	3,691,660	2027/8/20
	4 NEWSWALES 230420	4.0	50,000	53,805	4,521,795	2023/4/20
	5.5 VICTORIA 241217	5.5	30,000	35,486	2,982,277	2024/12/17
小	計				125,090,330	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券					
	0.25 NZ GOVT 280515	0.25	40,000	37,431	2,912,557	2028/5/15
	0.5 NZ GOVT 240515	0.5	70,000	70,194	5,461,867	2024/5/15
	0.5 NZ GOVT 260515	0.5	40,000	39,347	3,061,638	2026/5/15
	1.5 NZ GOVT 310515	1.5	70,000	69,309	5,392,998	2031/5/15
	1.75 NZ GOVT 410515	1.75	40,000	35,674	2,775,816	2041/5/15
	2.75 NZ GOVT 250415	2.75	85,000	92,213	7,175,113	2025/4/15
	2.75 NZ GOVT 370415	2.75	30,000	32,413	2,522,111	2037/4/15
	3 NZ GOVT 290420	3.0	85,000	95,787	7,453,205	2029/4/20
	3.5 NZ GOVT 330414	3.5	45,000	53,017	4,125,326	2033/4/14
	4.5 NZ GOVT 270415	4.5	60,000	72,355	5,629,985	2027/4/15
	5.5 NZ GOVT 230415	5.5	90,000	99,350	7,730,435	2023/4/15
小	計				54,241,058	
合	計				179,331,388	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2021年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	179,331,388	97.7
コール・ローン等、その他	4,291,563	2.3
投資信託財産総額	183,622,951	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (182,929,157千円) の投資信託財産総額 (183,622,951千円) に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=84.04円	1 ニュージーランドドル=77.81円	
--------------------	---------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年4月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	183,622,951,726
コール・ローン等	2,818,524,910
公社債(評価額)	179,331,388,069
未収利息	1,384,398,799
前払費用	88,639,948
(B) 負債	497,924,232
未払解約金	497,924,137
未払利息	95
(C) 純資産総額(A-B)	183,125,027,494
元本	64,168,417,556
次期繰越損益金	118,956,609,938
(D) 受益権総口数	64,168,417,556口
1万口当たり基準価額(C/D)	28,538円

<注記事項>

- ①期首元本額 72,103,773,701円
 期中追加設定元本額 1,290,218,616円
 期中一部解約元本額 9,225,574,761円
 また、1口当たり純資産額は、期末2.8538円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	39,245,156,969円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)	18,161,306,479円
三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	5,443,622,238円
MUAM グローバル・ボンド・ファンド(適格機関投資家転売制限付)	1,030,658,092円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(年1回決算型)	241,771,593円
外国債券アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	45,902,185円
合計	64,168,417,556円

○損益の状況 (2020年4月21日~2021年4月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,072,186,458
受取利息	5,072,586,515
支払利息	△ 400,057
(B) 有価証券売買損益	17,490,314,927
売買益	29,000,252,587
売買損	△ 11,509,937,660
(C) 保管費用等	△ 60,367,230
(D) 当期損益金(A+B+C)	22,502,134,155
(E) 前期繰越損益金	110,018,219,665
(F) 追加信託差損益金	2,286,706,156
(G) 解約差損益金	△ 15,850,450,038
(H) 計(D+E+F+G)	118,956,609,938
次期繰越損益金(H)	118,956,609,938

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。